

マツダと住友商事、メキシコにおける合併生産拠点 「MMVO」の株式譲渡に合意

—今年度中にマツダ単独出資の生産拠点へ—

マツダ株式会社(本社:広島県安芸郡府中町 代表取締役 社長兼 CEO:丸本 明 以下、マツダ)と住友商事株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役 社長執行役員 CEO:兵頭 誠之 以下、住友商事)は、メキシコ合衆国における合併生産拠点「Mazda de Mexico Vehicle Operation」(以下、MMVO)について、住友商事が保有する全株式をマツダが取得することで本日、正式に合意しました。今後、譲渡に伴う手続きを経て、2020年度中にMMVOはマツダが100%出資する生産拠点になる予定です。

MMVOは、マツダと住友商事の強みを生かした協業事業として、2011年9月に合併で設立され、両社ならびに地域の支援のもと、人材育成と現地化を推進するとともに高品質でフレキシブルなマツダのクルマづくりの実現を目指してきました。設立から9年以上が経過し、住友商事の豊富な経験・知見を生かして推進してきた現地化の定着や累計生産100万台の達成など、マツダの主要生産拠点の一つに成長しました。MMVO設立10年目を迎えるにあたり、両社はMMVOの今後の計画や運営等の協議を重ねた結果、マツダが全株式を保有することで合意しました。

今後もマツダと住友商事は大切なビジネスパートナーとして国内外であらゆる事業で協業していきます。MMVOは、これからも地域経済ならびに同国の自動車産業のさらなる発展に貢献していきます。



MMVO 外観

【MMVO 概要】

会社名:	Mazda de Mexico Vehicle Operation (マツダデメヒコビークルオペレーション)
所在地:	メキシコ合衆国 グアナフアト州 サラマンカ市
代表者(社長):	水谷 智春
従業員数:	5,200名 (2020年3月時点)
出資比率:	マツダ 75%、住友商事 25% ※変更後はマツダ 100%
生産能力:	[車両]25万台/年 [エンジン]25万基/年
マツダの生産車種/機種:	[車両]「MAZDA3」「MAZDA2」「MAZDA CX-30」 [エンジン]ガソリンエンジン「SKYACTIV-G 1.5」「SKYACTIV-G 2.0」「SKYACTIV-G 2.5」
沿革	2011年 9月: 設立(出資比率:マツダ 70%、住友商事 30%) 10月: 起工式 2014年 1月: 「MAZDA3」量産開始 2月: 開所式 10月: 「MAZDA2」量産開始、エンジン機械加工工場稼働開始 2015年 6月: トヨタブランド車量産開始 2017年 3月: 出資比率変更(出資比率:マツダ 75%、住友商事 25%) 2019年 9月: 「MAZDA CX-30」量産開始 2020年 1月: MMVO 累計生産100万台達成(2月に記念式典を実施)

以上